

<75歳からの出発>

創世記15章1～6節



【赤江弘之師の書籍】 「死ぬ日は生まれる日にまさる」

良い名声は良い香油にまさり、死の日は生まれる日にまさる。
祝宴の家に行くよりは、喪中に行くほうがよい。そこには、すべての人の
終わりがあり、生きている者がそれに心を留めるようになるからだ。 伝道者の書7：1、2

【サグラダ・ファミリア】

スペインのバルセロナにある教会。 設計者はアントニ・ガウディ
1882年に工事が始まり、まだ建設工事中。

あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。行いによるものではありません。だれも誇ることはないためです。私たちは神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行いに歩むように、その良い行いをもあらかじめ備えてくださったのです。 エペソ2：8～10

1組の老夫婦に起こった事

信仰の父とよばれたアブラハムとその妻サラ

アブラハム75歳。神に召し出され、新しい出発が与えられた。

あなたはあなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て私が示す地へ行きなさい。・・・アブラムは主がお告げになったとおりに出かけた。ロトも彼といっしょに出かけた。アブラムがハランを出たときは、七十五歳であった。 創世記12：1～4

信仰によって、アブラハムは、相続財産として受け取るべき地に出て行けとの召しを受けたとき、これに従い、どこに行くのかを知らないで、出て行きました。 ヘブル 11 : 8 ~ 10

◆目に見えない神を見るようにして、主が告げられた通りにアブラハムは出発した。
主の導きの中で生きる人生のスタート。あるのは神の約束のみ。

アブラハムとサラ。家督を継ぐ子どもがなかった事が悩み。
神は、アブラハムを外へ連れ出し、満天の星空を見せて言われた。

「さあ、天を見上げなさい。星を数えることができるなら、それを数えなさい。」さらに仰せられた。
「あなたの子孫はこのようになる。」 創世記 15 : 5

アブラハム・・・夫婦とも年を取って、子を宿すことも難しいのに
それは不可能だ！ しかし…
彼は主を信じた。主はそれを彼の義と認められた。 創世記 15 : 6

イエスキリストを信じて救われることも同じ <信仰義認>
すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず、ただ、神の恵みにより、
キリスト・イエスによる贖いのゆえに、価なしに義と認められるのです。

ローマ 3 : 23、24

【2軍入りした野球選手】

二通りの反応 「落ちた」と「落とされた」

主は私のたましいを生き返らせ、御名のために、私を義の道に導かれます。 詩篇 23 : 3

アブラハムは、「自分の内に果たせる力」があるかないかを見たのではなく、
「主を信じた」

◆成ると信じて進む道は簡単ではない。自分を見て、無理だ！不可能だ！が
繰り返し巡ってくる。そのたびに、「主を信じた」に立ち返る。
これが出発点。どんな時もそこからスタートする。